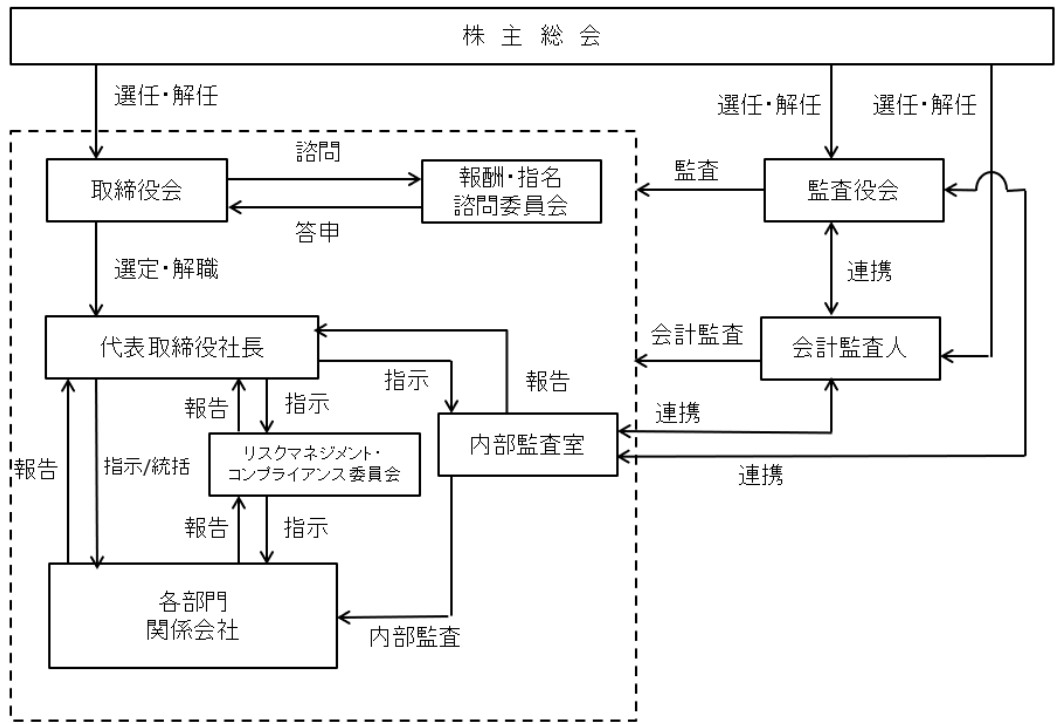


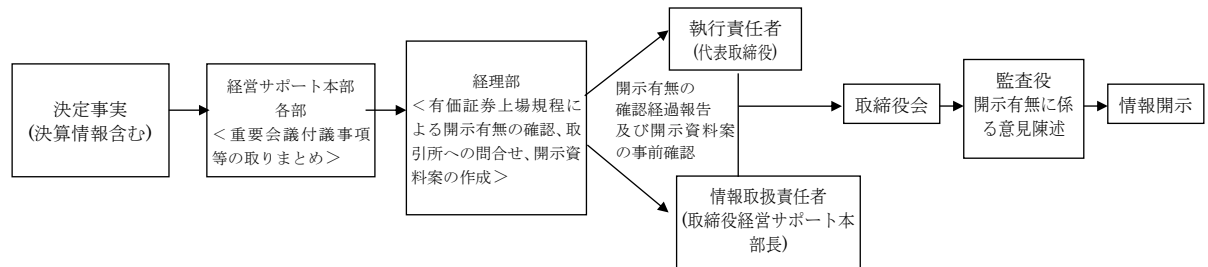
【模式図(参考資料)】



【適時開示体制の概要（模式図）】

(a) 決定事実（決算情報を含む）に関する情報

経営サポート本部各部は幹部会、経営会議、取締役会及び子会社の経営会議等重要会議の付議事項を入手し、適時開示の対象となる重要事実の有無を検討し、適時開示対象となる事項がある場合、その付議事項内容に関する開示資料案を作成します。情報取扱責任者及び執行責任者による内容確認実施後、取締役会の承認を得て、開示資料を開示します。



(b) 発生事実に関する情報

当該事実が発生した場合、該当する各部又は子会社は経営サポート本部各部へ報告し、経理部は適時開示の対象となる重要事実の有無を検討し、適時開示対象となる事項がある場合、その発生事実に関する開示資料案を作成します。経理部は、情報取扱責任者による内容確認実施後、執行責任者の了承を得て、速やかに開示資料を開示します。

